

DD51 最終Run 予約開始 価格未定

★此処でお詫びがございます。DD51 に付きましてメールでのお問い合わせ、あるいは早速御予約いただきまして有難うございます。この点につきましてまだお返事のメールをお返しできておりません。その理由ですが現在幾つかのDD51の号機が追加で製作致す状況になっています。勿論各タイプ少量での生産をメーカーのATM社が承諾して貰う事が前提になります。EF81でもそうでしたが生産するタイプが多く混乱を防ぐ為、各タイプに製品の通しナンバーを付けています。DD51の場合まだ製品の種類、号機が増える可能性がございますのでこの通しナンバーが変更されます。最終的なバージョン数に落ち着くまで今少しの時間が必要になります。その時点でお返事のメールを返信させていただきますのでご了承下さい。

お陰様でEF62 1号機、及び前期量産型はご好評を頂きホット胸を撫でおろしている処です。今、ATM社におきましてはEF62後期量産型の最終組み立てを慎重を期して行ってもらっています。EF15はハンダ組み立ての為に数多くの部品が続々と出来上がってきているところです。引き続きED17/ED18の製作準備も始まろうとしています。ここで1つ問題点が見えてまいりました。現在も御予約を引き続き承らせて頂いていますEF81各タイプの後EF64 1000番台発売までの間が空いてしまう事です。当店製品は模型化図面に膨大な時間を掛けてあの緻密な出来の完成品を送り出しています。一つの新製品を送り出すのに4年、5年と何年もかかっています。又、実に円安がこんなところにも響いて来ています。例えば一人の設計者が1つの製品の図面を完全に、この場合40も50も有るタイプ別仔細図面、何百とある下請け部品工場に送る部品図、塗装工場に必要なタイプ別のカラー塗り塗装ガイド、及びレタリングガイド。これらを5回6回と何年もかけて校正していき完全な模型製作図面の完成となりますが設計者のサラリーが例えば日本円で30万円と仮定して10か月かかれば300万円となります。その他すべてに物凄い製作時間が掛かります。1つ1つの過程で何百回とチェックが入ります。その他すべてにコストが掛かります。そして完成した製品は出来る限り皆様にお買い上げ頂ける価格の範囲に押さえています。正に常軌を逸しています。(まあ簡単に出来ると思っている方もいらっしゃるかもしれませんが)この先どうなるのやらです。テナワケデ、細かい御託を並べてしまいやしたがDD51と相成りやした。あたしも苦勞致しやす。という訳で、更に歳もトシなのでと云う事もございます。

昨年群馬！！！！のDD51 2輛が使用停止となりました。お召し機 842号機、お召し予備機 895号機です。もう1輛のお召し予備機 888号機と 897号機は既に鬼籍に入っています。そして今回842号機の1973.10月若潮国体お召し牽引時のスタイルを再現したいと云う事からこの企画が始まりました。ムサシノモデルが20数年前にDD51量産型を製作するきっかけを作ったのがこの842号機と退役間近の745号機でした。何れに致しましても残るはJR西日本所属機8輛のみとなっております。令和元年(2019)11月に前回製品を発売致しましたがその時はJR貨物愛知機関区のDD51が最後の活躍を見せている時でした。時の流れはかように早いものです。そしてこれらのDD51達をもう一度本当にこれが最後と形にしようと思った次第です。そして何時もの様に色々と夢想して見た結果が以下のようにになりました。北海道のご存知ニセコ重連、五稜郭区の3つ目745号機ともう1輛1009号機の重連相手に小樽築港区のスピーカー付き1078号機を。山陰線国鉄時代から語呂の良い777号機。以前から作りたかった国鉄時代常磐線無線アンテナ付き

842号機、ユーロライナー色のやり残し592,1037号機。北斗星色で早期に退役したラジエターカバー無し1010号機、今まで製作した事の無かったナンバー1068号機。JR貨物発足時の試験塗装1053/1063号機とギリギリ機番を絞っています。あれもこれもと言いだしたら收拾がつかなくなります、いやもう既に收拾がついてない?。又、少量受注生産品の様な形になります。おつきあいのお付き合いの程よろしゅうお頼み申し上げます。(発売はだいぶ先の話になりますのでその時まで西のDDが活躍していることを切に願う次第です。)



3月初旬にDD51最終生産のお知らせをさせて頂きましたがその後、多くのリクエストをお客様から頂きました。改めてDD51の人気の高さに驚きを禁じ得ませんごりう。その貴重なアドバイスを頂いた中から幾つかのタイプを付け加えさせて頂きました。まだまだ加えたいDDも有りましたが既に現時点でバージョンの数が50近くまで膨れ上れ上がっており後ろ髪を引かれるように断念しております。以下のバージョンも御注文の数量が集まらない場合は生産を断念することも有りますのでご了承お願いいたします。

DD51最終Run 生産タイプ.リスト。★印は新製品

- (1)国鉄 DD51 1059/1087号機 旭川機関区 宗谷本線、網走本線で活躍★
- (2)国鉄 DD51 616号機 小樽築港機関区 スピーカー付き
- (4)国鉄 DD51 1078号機 小樽築港機関区 スピーカー付き★
- (6)国鉄 DD51 1009号機 五稜郭機関区★
- (7)国鉄 DD51 842号機 佐倉機関区 1973年10月若潮国体お召し牽引機、常磐無線アンテナ取り付け準備スタイル。★
- (8)国鉄 DD51 842号機 佐倉機関区 常磐線無線アンテナ装備 ★
- (9)国鉄 DD51 820号機 稲沢第一機関区 お召し機★
- (11)国鉄 DD51 777号機 米子機関区★ 日立製779,780,785号機は同型機になります。
- (12)国鉄 DD51 1121号機 米子機関区★
- (14)国鉄 DD51 1070/1071号機 ブルトレあかつき牽引機 直方 デッキ前に九州タイプヘッドマーク掛け ★
- (15)JR北海道 DD51 1010号機 北斗星色 空知運転所 原色機との重連で北斗星牽引。★

- (16) JR 北海道 DD51 1068 号機 北斗星色 函館運転所 黒Hゴム ★
- (17) JR 北海道 DD51 1083 号機 函館運転所 黒Hゴム
- (18) JR 東日本 DD51 745 号機 長岡運転所 グレイHゴム 全検表記 2-12 土崎工 ★
- (19) JR 東日本 DD51 745 号機 長岡運転所 黒Hゴム 最終全検表記
- (21) JR 東日本 DD51 842 号機 お召し機 高崎運転所 黒Hゴム 最終全検表記
- (23) JR 東日本 DD51 888 号機 お召し予備機 高崎運転所
- (24) JR 東日本 DD51 895 号機 お召し予備機 高崎運転所
- (26) JR 東海 DD51 592 号機 ユーロライナー 稲沢第一機関区 ★
- (27) JR 東海 DD51 1037 号機 ユーロライナー 美濃太田運輸区 ブロック式ナンバー 青/白 ★
- (28) JR 東海 DD51 791 号機 ユーロライナー 美濃太田運輸 ★
- (29) JR 東海 DD51 749 号機 原色機、下廻りグレー塗装 美濃太田青区 ★
- (30) JR 西日本 DD51 844 号機 山口線で活躍した西の 800 番台、下関総合車両 ★
- (31) JR 西日本 DD51 1186 号機 1 アンテナ 後藤総合車両所
- (32) JR 西日本 DD51 1186 号機 2 アンテナ 後藤総合車両所 エアコン装備
- (33) JR 西日本 DD51 1179 号機 1 アンテナ 後藤総合車両所
- (34) JR 西日本 DD51 1191 号機 2 アンテナ 網干総合車両所宮原支所 エアコン装備
- (35) JR 西日本 DD51 1193 号機 2 アンテナ 網干総合車両所宮原支所 エアコン装備
- (37) JR 貨物 DD51 1053/1063 号機 試験塗装機 鷺別機関区 水色にオレンジ帯 ★
- (38) JR 貨物 DD51 1146 号機 赤色 A 更新機 鷺別機関区 ★
- (39) JR 貨物 DD51 1166 号機 赤色 A 更新機 鷺別機関区 ★
- (40) JR 貨物 DD51 1152 号機 B 更新機 鷺別機関区 ★
- (41) JR 貨物 DD51 1162 号機 B 更新機 鷺別機関区 ★
- (42) JR 貨物 DD51 1184 号機 東新潟機関区 原色機 前面窓プロテクター付き
- (43) JR 貨物 DD51 825 号機 A 更新機 愛知機関区 ★
- (44) JR 貨物 DD51 857 号機 A 更新機 愛知機関区 ★
- (45) JR 貨物 DD51 1028 号機 A 更新機 愛知機関区 ★
- (46) JR 貨物 DD51 1801 号機 A 更新機 愛知機関区